

## 開催日時

令和6年2月19日(月) 10:30 ~ 11:30

## 開催場所

北陸地方整備局 1階 入札室  
石川県庁 14階 1407会議室 (Web併用)

## 委員名簿

区分	氏名	機関名・所属・役職	会議
			参加方法
学識委員	内田 太郎	筑波大学 生命環境系 教授(砂防計画)	WEB
	川村 國夫 【委員長代行】	金沢工業大学 地域防災環境科学研究所 教授(地盤工学)	WEB
	堤 大三	信州大学 農学部 教授(砂防工学)	WEB
	丸井 英明 【委員長】	新潟大学 名誉教授(自然災害科学)	WEB
	柳井 清治	石川県立大学 生物資源環境学部 特任教授(流域環境学)	WEB
	山越 隆雄	国土交通省 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 砂防研究室長	WEB
行政委員	村井 雅浩	気象庁 金沢地方気象台 次長	WEB
	松浦 直	国土交通省 北陸地方整備局 河川部長	新潟会場
	杉本 敦 (本田 正和)	国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所長 (併任 金沢河川国道事務所 流域対策課長)	WEB (代理)
	大島 和宏	石川県 危機管理監室 次長	石川会場
	桜井 亘	石川県 土木部 参事	石川会場
	中前 豊 (黒田 浩二)	輪島市 総務部長 (総務部 防災対策課長)	WEB (代理)
	田川 克彦	輪島市 建設部 技監	WEB

## 各委員からの意見

### ■ 委員会で今後議論いただく予定に対して

- 4月の委員会では融雪期におけるリスク検討をしたいとのことだが、写真をみる限り、河道閉塞等の14箇所については問題になるような積雪がないように思う。現時点でもほとんど積雪がないと認識している。
- 平成16年の中越地震の際と異なり、4月まで積雪が残っている状況にはならないと考えられる。もし融雪期におけるリスク検討をするのであれば次回開催時期を早める必要があるが、そもそも融雪リスク検討自体の必要性の有無を考えた方が良い。
- 降雪量が少ないため、融雪リスクは高くないと考える。梅雨時期の検討に重点を置いた方が良い。
- 河道閉塞が要点となっているが、議論にあたり、河道閉塞の規模や侵食状況等のデータを次回委員会で提示いただきたい。
- 河道閉塞の上流で地すべりが発生している箇所があり、この影響検討も議題した方が良い。
- ハード対策の検討にあたっては、材料輸送の可否にも影響するため、道路復旧担当との情報連絡を確実にすること。



委員会開催状況